

今日のトピック 2023年11月の注目イベント
米FOMCで政策金利は据え置きか

- 米連邦準備制度理事会（FRB）は、10月31日、11月1日に米連邦公開市場委員会（FOMC）を開催します。このところ複数のFRB高官から、長期金利の上昇が利上げの代替になる旨の発言が相次いでおり、パウエル議長が10月19日に、金融政策運営について「不確実性とリスク、これまでの道のりを考えて注意深く進めている」と述べていることから、FRBは2会合連続の政策金利据え置きを決めるとみられます。ただし、パウエル議長は「引き締め方がきつすぎるとは思わない」とも発言しており、政策判断はデータ次第で決めるとの方針に変わりはないと判断されます。11月21日には、今回のFOMCの議事要旨が公表され、雇用統計や消費者物価指数とともに、その内容が注目されます。
- 中国経済は、10月に発表されたGDP成長率や小売売上高、鉱工業生産が市場予想をやや上回り、持ち直しの兆しがみられました。ただし、不動産市場の低迷により住宅販売や不動産開発投資は下振れが続いており、11月15日発表の小売売上高、鉱工業生産、固定資産投資などが注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2023年11月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:FOMC 、10月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 3日:10月雇用統計 、10月ISM非製造業景況指数 7日:9月貿易収支	7日:ユーロ圏9月PPI 8日:ユーロ圏9月小売売上高 10日:イギリス7-9月期GDP	1日:中国財新10月製造業PMI、ブラジル金融政策決定会合 3日:中国財新10月非製造業PMI 7日:豪州金融政策決定会合、中国10月貿易収支 9日:中国10月PPI、10月CPI、メキシコ金融政策決定会合	7日:9月家計調査、9月毎月勤労統計 8日:9月景気動向指数 9日:9月国際収支、10月景気ウォッチャー調査
11日:11月ミシガン大学消費者センチメント指数 14日:10月消費者物価指数(CPI) 15日:10月生産者物価指数(PPI)、10月小売売上高 16日:10月鉱工業生産	15日:ユーロ圏9月鉱工業生産、ユーロ圏9月貿易収支、イギリス10月CPI	13日:インド10月CPI 15日:中国10月小売売上高、10月鉱工業生産、10月固定資産投資	13日:10月企業物価指数 15日:7-9月期GDP 16日:9月機械受注
21日:FOMC議事要旨 24日:11月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 27日:10月新築住宅販売 28日:9月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、11月コンファレンスボード消費者信頼感指数 30日:10月個人消費支出(PCE)、10月PCEデフレーター 、10月個人所得	22日:ユーロ圏11月消費者信頼感指数 23日:ユーロ圏11月製造業・非製造業PMI 24日:ドイツ11月IFO企業景況感指数 30日:ユーロ圏11月CPI	23日:トルコ金融政策決定会合、南アフリカ金融政策決定会合 30日:中国11月製造業・非製造業PMI、インド7-9月期GDP	24日:10月全国CPI 27日:10月企業向けサービス価格指数 30日:10月小売業販売額、10月鉱工業生産、10月住宅着工件数

(注) 2023年10月25日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）

ここもチェック! 2023年9月27日 2023年10月の注目イベント
2023年8月29日 2023年9月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。